

2016年8月8日
株式会社日立製作所

岡山市から指静脈認証とパスワードによる二要素認証システムを受注 マイナンバー関連業務における情報セキュリティの高度化を実現

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、岡山市から、指静脈認証とパスワードによる二要素認証システムを受注しました。本システムは、岡山市の約 40 拠点の職員が、住民基本台帳や税・社会保障関連業務などのマイナンバーを取り扱う業務に利用する PC 約 1,600 台へのログイン時に、指静脈認証とパスワードの 2 種類の認証手段を組み合わせた二要素認証を行うものです。これにより、岡山市は、情報セキュリティの高度化を実現し、徹底的に個人情報流出の抑制を図ります。なお、本システムは 2017 年 1 月に稼働を開始する予定です。

マイナンバー制度の開始に伴い、自治体では、マイナンバーの付番・通知やマイナンバーカードの発行など、制度の根幹となる業務を行う主体として、組織体制、情報システム、人財教育などさまざまな観点において、情報セキュリティの強化に向けた取り組みを進めています。また、2015 年 11 月に総務省より公表された「自治体情報システム強靱性向上モデル」*では、マイナンバーを取り扱う業務において利用する PC などの端末を外部ネットワークから遮断するほか、端末へのログインには 2 種類の認証手段を組み合わせた二要素認証を行うことが求められています。

今回、岡山市から受注した二要素認証システムは、PC へのログインに、パスワードに加えて指静脈認証を組み合わせた二要素認証を実現します。指静脈認証技術は、日立が開発した生体認証技術で、指の静脈パターンで個人を認証するものです。近赤外線を指に透過させて得られる指の静脈パターンの画像から静脈の存在する部分を構造パターンとして検出し、あらかじめ登録した静脈の構造パターンと照合させて個人認証を行います。指静脈は体内にある情報であるため、偽造や成りすましが極めて困難であり、高いセキュリティ性を実現します。日立では、2002 年に指静脈認証装置を製品化して以来、ATM(現金自動取引装置)の本人認証や PC ログイン、入退室管理など、さまざまな分野への適用を進め、グローバルに事業を拡大してきました。

今後も、日立は指静脈認証をはじめとする高度なセキュリティ技術を駆使し、お客さまのセキュリティレベルの向上を支援することで、安全・安心な社会の実現に貢献していきます。

* 総務省「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に向けて」(2015 年 11 月)
http://www.soumu.go.jp/main_content/000387560.pdf

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 公共ビジネスユニット 公共システム営業統括本部
カスタマ・リレーションズセンタ [担当:野口]

〒140-8512 東京都品川区南大井六丁目 23 番 1 号 日立大森ビル

URL: <http://www.hitachi.co.jp/pchannel-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
